



## 平成28年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハイパー

コード番号 3054 URL http://www.hyperpc.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 玉田 宏一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 江守 裕樹 TEL 03-6855-8180

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 平成28年9月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年12月期第2四半期の連結業績（平成28年1月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第2四半期	10,059	1.3	131	△53.8	129	△53.9	74	△58.1
27年12月期第2四半期	9,930	△22.7	283	△43.0	279	△43.1	178	△40.6

(注) 包括利益 28年12月期第2四半期 74百万円 (△58.2%) 27年12月期第2四半期 178百万円 (△40.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第2四半期	17.70	17.03
27年12月期第2四半期	42.73	41.13

(注) 当社は、平成28年1月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年12月期第2四半期	5,737	2,377	40.2	551.16
27年12月期	6,027	2,367	38.3	541.30

(参考) 自己資本 28年12月期第2四半期 2,303百万円 27年12月期 2,310百万円

(注) 当社は、平成28年1月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	16.00	—	18.00	34.00
28年12月期	—	9.00	—	—	—
28年12月期（予想）	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

当社は、平成28年1月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成27年12月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

### 3. 平成28年12月期の連結業績予想（平成28年1月1日～平成28年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	1.5	150	△59.2	140	△61.2	80	△64.7	19.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年12月期2Q	4,268,400株	27年12月期	4,268,400株
② 期末自己株式数	28年12月期2Q	88,188株	27年12月期	88株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年12月期2Q	4,218,617株	27年12月期2Q	4,167,960株

(注) 当社は、平成28年1月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する監査手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費・生産・投資・外需のいずれも弱さが見られ、消費者マインドの低下や企業収益の頭打ち等を背景に、回復の動きは鈍いまま推移しました。

当社グループが属するコンピュータ販売業界におきましては、当初予測よりWindows XPのサポート終了に伴う切り替え需要の反動が長引き、国内パソコン市場の回復に遅れが生じました。

このような状況の下、当社グループは独自の在庫販売戦略に注力するなど、売上の確保に努めてまいりました。また、将来の収益性向上のためにシステムおよび新サービスの開発に投資してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は10,059,798千円（前年同四半期比1.3%増）、経常利益は129,088千円（前年同四半期比53.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は74,677千円（前年同四半期比58.1%減）となりました。

## ① 情報機器販売事業

Windows XPのサポート終了に伴う切り替え需要の反動の影響が長引き、法人向けコンピュータ市場においては、パソコンの出荷台数が減少する状況が引き続き見られました。当社グループは独自の在庫販売戦略に注力するなど、売上の確保に努めてまいりました。その結果、売上高は6,834,828千円（前年同四半期比3.9%減）、営業利益は91,878千円（前年同四半期比65.2%減）となりました。

## ② アスクルエージェント事業

既存取引先の稼働促進や新規取引の拡大が順調に推移し、売上高は3,224,821千円（前年同四半期比14.3%増）、営業利益47,507千円（前年同四半期比140.7%増）となりました。

## ③ その他

第1四半期連結会計期間より新規事業として児童発達支援事業及び放課後等デイサービス事業を開始し、計画通りに推移しております。その結果、売上高148千円、営業損失8,188千円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産の残高は、5,400,158千円（前連結会計年度末は5,717,342千円）となり、317,183千円減少いたしました。現金及び預金が減少したことが大きな要因であります。

## (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末の固定資産の残高は、337,705千円（前連結会計年度末は310,435千円）となり、27,269千円増加いたしました。投資その他の資産が増加したことが大きな要因であります。

## (流動負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債の残高は、2,884,624千円（前連結会計年度末は3,104,959千円）となり、220,334千円減少いたしました。短期借入金が増加したことが大きな要因であります。

## (固定負債)

当第2四半期連結会計期間末の固定負債の残高は、475,324千円（前連結会計年度末は555,747千円）となり、80,422千円減少いたしました。長期借入金が増加したことが大きな要因であります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ10,843千円増加し、2,377,915千円となりました。自己資本比率は38.3%から40.2%に増加しました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年7月26日に「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました業績予想から、通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,199,894	1,783,465
受取手形及び売掛金	2,496,421	2,565,384
電子記録債権	168,868	257,968
商品	760,662	720,711
その他	95,991	77,444
貸倒引当金	△4,495	△4,815
流動資産合計	5,717,342	5,400,158
固定資産		
有形固定資産	45,352	49,854
無形固定資産	128,410	126,915
投資その他の資産		
投資有価証券	33,377	43,316
その他	177,498	190,813
貸倒引当金	△74,202	△73,194
投資その他の資産合計	136,673	160,935
固定資産合計	310,435	337,705
資産合計	6,027,777	5,737,864
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,124,991	2,161,030
短期借入金	300,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	450,684	376,366
未払法人税等	32,274	63,548
賞与引当金	46,851	49,816
その他	150,157	133,862
流動負債合計	3,104,959	2,884,624
固定負債		
長期借入金	539,173	458,621
その他	16,574	16,703
固定負債合計	555,747	475,324
負債合計	3,660,706	3,359,949

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	297,981	297,981
資本剰余金	270,980	270,980
利益剰余金	1,740,056	1,776,319
自己株式	△46	△42,701
株主資本合計	2,308,972	2,302,580
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,474	1,404
その他の包括利益累計額合計	1,474	1,404
新株予約権	56,624	73,929
純資産合計	2,367,071	2,377,915
負債純資産合計	6,027,777	5,737,864

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
売上高	9,930,795	10,059,798
売上原価	8,501,788	8,729,237
売上総利益	1,429,006	1,330,561
販売費及び一般管理費	1,145,331	1,199,363
営業利益	283,675	131,197
営業外収益		
受取利息	445	518
受取配当金	409	411
広告料収入	1,500	600
その他	1,780	1,874
営業外収益合計	4,135	3,404
営業外費用		
支払利息	5,624	4,319
支払手数料	2,300	800
その他	24	394
営業外費用合計	7,948	5,513
経常利益	279,861	129,088
税金等調整前四半期純利益	279,861	129,088
法人税、住民税及び事業税	104,777	58,664
法人税等調整額	△3,029	△4,253
法人税等合計	101,747	54,411
四半期純利益	178,113	74,677
親会社株主に帰属する四半期純利益	178,113	74,677

（四半期連結包括利益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日）
四半期純利益	178,113	74,677
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	192	△69
その他の包括利益合計	192	△69
四半期包括利益	178,305	74,607
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	178,305	74,607

## （3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	279,861	129,088
減価償却費	54,206	49,656
貸倒引当金の増減額（△は減少）	1,295	2,021
賞与引当金の増減額（△は減少）	16,461	2,965
受取利息及び受取配当金	△854	△929
支払利息	5,624	4,319
株式報酬費用	13,288	17,304
売上債権の増減額（△は増加）	△94,939	△159,764
たな卸資産の増減額（△は増加）	△81,992	40,389
仕入債務の増減額（△は減少）	△218,047	36,039
未払消費税等の増減額（△は減少）	△108,656	15,261
その他	△6,073	△23,588
小計	△139,827	112,764
利息及び配当金の受取額	640	689
利息の支払額	△5,517	△4,095
法人税等の支払額	△167,229	△30,468
営業活動によるキャッシュ・フロー	△311,933	78,890
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	—	△10,473
無形固定資産の取得による支出	△474	△32,578
投資有価証券の取得による支出	△92	△10,094
その他	81	△6,587
投資活動によるキャッシュ・フロー	△485	△59,733
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（△は減少）	200,000	△200,000
長期借入れによる収入	100,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△134,518	△254,870
ストックオプションの行使による収入	2,301	—
配当金の支払額	△38,317	△38,062
自己株式の取得による支出	—	△42,654
財務活動によるキャッシュ・フロー	129,465	△435,586
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△182,953	△416,428
現金及び現金同等物の期首残高	2,086,451	2,199,894
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,903,498	1,783,465

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間（自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1
	情報機器販 売事業	アスクルエ ージェント 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,110,100	2,820,694	9,930,795	-	9,930,795	-	9,930,795
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	7,110,100	2,820,694	9,930,795	-	9,930,795	-	9,930,795
セグメント利益	263,934	19,740	283,675	-	283,675	-	283,675

(注) 1 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

のれんについては、重要性が乏しいため、記載を省略しております。

## II 当第2四半期連結累計期間（自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1
	情報機器販 売事業	アスクルエ ージェント 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,834,828	3,224,821	10,059,650	148	10,059,798	-	10,059,798
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	6,834,828	3,224,821	10,059,650	148	10,059,798	-	10,059,798
セグメント利益又は損失 (△)	91,878	47,507	139,385	△8,188	131,197	-	131,197

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、児童発達支援事業及び放課後等デイサービス事業等を含んでおります。